

各 位

2026 年 10 月 14 日
株式会社インプレス

【スマホの画面の向こう側】当たり前に使えるネットを陰で支えた 30 年のドラマ！
『インターネットは空から降ってこない 社会をつなげ続けた 30 年と挑戦者たちからの
エール』を 10 月 14 日に発売

インプレスグループでIT・デザイン関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、新刊『インターネットは空から降ってこない 社会をつなげ続けた30年と挑戦者たちからのエール』《著：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）広報PR部会》を2026年10月14日（水）に発売いたします。

空 か ら タ ー ネ ッ ト は 降 っ て こ な い

社会をつなげ
続けた30年と
挑戦者たちの
エール

一般社団法人
日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）
広報PR部会

「正解」のない
AI時代を生きる
君たちへ。
インターネット
30年の歴史、
一気読

インプレス

■スマホの画面の向こう側で「ネットワークを手作りした大人たち」の足跡

AIが急速に普及し、スマホひとつで世界とつながることが「当たり前」となった現代社会。ですが、ふと考えたことはありませんか？「このインターネットは、一体誰が、どうやって支え、育んできたのだろう？」と。インターネットは決して空から降ってきた都合のよい魔法ではありません。

スマホやPCの画面の向こう側には、技術の可能性を信じて現場で地道に回線をつなぎ、未知の危機に直面しても仲間と手を取り合って築いてきた挑戦者たちの歩みがありました。本書は、1990年代の草創期からブロードバンドの普及、そしてAI時代に至るまで、日本のインターネット30年の軌跡をテンポよく辿るノンフィクションです。

■未知の未来を自律して生き抜くための「3つの挑戦の軌跡」

AIの進化により、多くの作業が自動化されていく現代。だからこそ求められているのは、仕組みの背景を理解し、ルールを整え、人と人とをつなぎ合わせる力です。正解のない未知の領域に挑み、今日のインフラを創り上げてきた先人たちの経験と視点は、これからの時代を自律して歩むための確かな指針となります。

1.【技術】自分たちの手で創り上げたインフラ

インターネットは最初から用意されていたものではありません。技術の可能性に魅了された人々が夢中になり、手探りでネットワークをつなぎ合わせてきた30年の歩みを紐解きます。

2.【ルール】「安全・安心」に向けたルールづくり

誹謗中傷や著作権トラブルなど、成長するネット社会で生じる課題に直面する中、「表現の自由」や「通信の秘密」を守りながら、誰もが安心して使えるルールをどう創り上げてきたのかを描きます。

3.【連帯】未曾有の危機を乗り越えた現場の力

ネットを支えるのは設備だけではありません。東日本大震災をはじめとする未曾有の災害においても、事業者たちが手を取り合い、「通信という生命線」を守り抜いた現場の強い絆を描きます。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ IT・通信業界のビジネスパーソン（入社3～5年目の次世代リーダー予備軍など）
- ・ これからのキャリアや生き方を考える若年層（IT業界志望の高校生・大学生、他業種の若手社員など）
- ・ インターネットの歴史的背景や仕組みを理解したい方

■紙面イメージ

第2章 爆発するネット社会の光と影



行き詰まるプロバイダーの対応

このトラブルの最前線に立たされた事業者の一人が、関東でプロバイダー（ISP）を展開し、JAIIPAの行政法律部会で部会長を務める野口尚志（のぐち・たかし）でした。技術者として自社サービスの基盤の構築に情熱を注いできた彼を待っていたのは、想定しない悪意と圧力でした。

野口たちの窓口には、連日のように受話器越しに過激な脅迫が響き渡ります。「なぜデータを削除しないのか！ お前の会社に火をつけるぞー」。さらに、ネットの掲示板に「今から自殺する」という書き込みがあれば、警察から「今すぐ発信者を突き止めて」と緊急の対応を迫られます。人間の悪意と、命に関わるトラブルが日常茶飯事となっていました。目の前の被害者を救うため、悪意ある通信を止めたい。しかし、彼らは明らかに権利侵害となる情報の削除など、自分たちでできる範囲において対応をしましたが、権利侵害かどうか疑わしい情報も多く、すぐに限界に行き当たります。プロバイダーは、安全・安心なインターネット社会を目指し、日本国憲法第21条が保障する「通信の秘密」を深く尊重し、国民のプライバシーと表現の自由を守り抜くことが責務です。郵便配達員が、配達中

※通信の秘密：日本国憲法第21条第2項で保障された権利。通信の当事者、日時、場所、内容などの情報を、第三者に知られたり侵害されたりしない権利を指します。通信会社にも、この秘密を守る厳しい法律上の義務が課せられています。

AIは物理戦である

「AIを動かすGPUサーバーはとてつもない電力を食うんだけど、日本のデータセンターにはラック当たり数kVA程度という物理的な設計の壁がある。高度なソフトウェアの壁なんかじゃなくて、実はこういう極めて物理的で現実的な制約と闘っているんだよね」

そう語るのは、AIワーキンググループの副主査を務め、InfraCloudの代表取締役でもある瀧康史（たき・やすし）です。

現在、世界におけるAI開発の最前線は、まさに「物量と電力の総力戦」と化しています。海外の巨大IT企業（ハイパースケーラー）が運営するAI専用データセンターは、単なるサーバー施設の規模をはるかに超えています。何万台もの高性能な機械を同時にフル回転させるため、隣に専用の発電所を建てて電気を直接引き込んだり、熱くなった機械を冷やすために地域の川や湖の水を丸ごと利用したりするほど、規格外のスケールになっているのです。

しかしその一方で、AIの世界を根本から変える、もう一つの強力な潮流が生まれつつあると瀧は続けます。それが、世界中で進んでいる「AIの軽量化（省エネ化）」です。それは「オープンウェイトモデル」と呼ばれるもので、AIが膨大なデータから学習した知能のデータ（学習済みパラメータ）が、そのまま一般に公開されている状態のAIモデルを指します。

この公開されたAIのデータを地域のサーバーにダウンロードすれば、海外の巨大企業のシステムを介さずとも、自分たちの手で自律的に最先端のAIを動かすことができます。その進化スピードはすさまじく、瀧は、このスピードを次のようにとらえています。

「最先端のフロンティアモデルに肉薄するオープンウェイトモデルが、急速に小型・省電力化しており、ほんの数年前と比べても圧倒的に小さなサイズで高精度に動作するようになってきている」

この劇的な進化の波は、これまで日本のインフラが抱えていた「弱点」を、一瞬にして「最大の武器」へとひっくり返す、大逆転の可能性も秘めています。

※フロンティアモデル：現時点で世界最高峰の能力を持つ、最先端の巨大AIモデル。OpenAIの「GPT-6」やGoogleの「Gemini」などが代表。莫大な資金と数万台のGPU、膨大な電力を投じて開発されます。

139

※オープンウェイトモデル：2023年の年末時点によるAI公開を機に広まった配布形態。学習データなどは非公開ですが、学習済みの数値データ（パラメータ）のみを無償公開することで、誰もが自前のサーバーでAIを直接動かせるようになります。

※ハイパースケーラー：世界規模で桁違いに巨大なシステムを運営する、IT界の「超巨人」たち（GoogleやMicrosoftなど）。町一つ分の敷地を使うほどの超巨大なデータセンターを、世界中に何棟も建てて運営しています。

※GPU：もともとは3Dゲームなどの画像表示用に開発された頭脳（半導体）。膨大な計算を同時に超高速で処理する能力に優れているため、現在は画像や文章を割り出す「生成AI」の計算処理に不可欠な存在となっています。

138

第3章第4節「生成AIの到来と国産クラウドの挑戦」より、最先端の生成AI時代におけるデータセンターや技術的背景を紐解く

■本書の構成

- 第1章：インターネットは空から降ってこない
- 第2章：爆発するネット社会の光と影
- 第3章：ネットワークトラフィックをめぐる議論、そして進化へ
- 第4章：インターネットは補完でしかない
- 終章：今後のインターネット業界の発展に向けて

■書誌情報

空
イ
ン
タ
ー
ネ
ッ
ト
は
空
か
ら
降
っ
て
こ
な
い

社会をつなげ
続けた30年と
挑戦者たちからの
エール

一般社団法人
日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
広報PR部会

「正解」のない
AI時代を生きる
君たちへ。
インターネット
30年の歴史、
一気読

インプレス

書名：インターネットは空から降ってこない 社会をつなげ続けた30年と挑戦者たちからのエール

著者：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）広報PR部会

発売日：2026年10月14日（水）

ページ数：200ページ

サイズ：四六判

定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

電子版価格：1,650円（本体1,500円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02595-5

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/429502595X>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1126101034>

■著者プロフィール

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)

利用者がインターネットを安全に、安心して利用できる取り組みや、サービス事業者に対する情報提供や活動などを通じて、高度情報通信ネットワーク社会の実現に寄与することを目的とした非営利活動法人です。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、デザイン・グラフィック関連の書籍ブランド「MdN」、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT・デザイン関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>